

TOTO

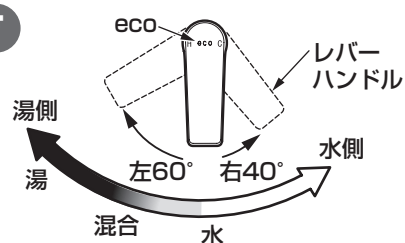
施工説明書

シングルレバーカートリッジ

THF34型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

温度調節の仕方



レバーハンドルを回す。

中央より右側に回すと水、左側へ回すと次第に温度が上がります。

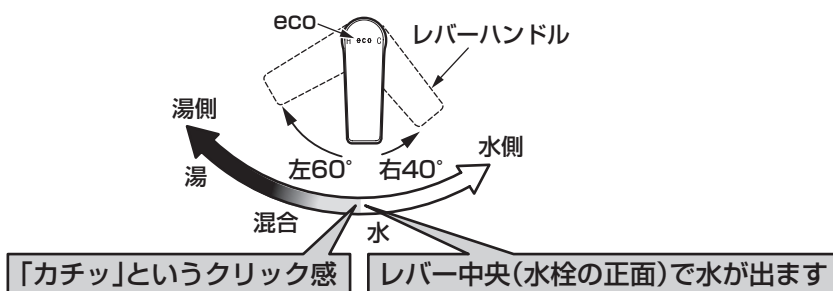
左側いっぱいになると、最高温度になります。

エコシングル

ハンドルに「eco」と表示のあるシングルレバー混合栓は「エコシングルカートリッジ」を搭載しています。よく使うレバー中央位置では水を吐水することで、気づかずに湯が出たり、給湯機が着火するのを防ぎます。(無駄なお湯やエネルギーを使わないためのご提案です)

お湯が必要な場合は、レバーハンドルを中央より左側に回してください。

水のみ位置、湯を使い始める位置をクリック感が教えてくれます。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意	
分解禁止	カートリッジやクリックユニットは、絶対に分解しない特殊組立をしておりますので、破損します。
必ず実行	カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を閉めてから行う。湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

2 部品の確認

ねじ	止めねじ M6×6.5	止めねじ M6×12 (TL363型用)	プッシュ ※外さないこと
クリックユニット	施工説明書	パッキン ※外さないこと	シングルレバーカートリッジ

水栓の種類によってどれかを使用します。

※カートリッジおよびプッシュとパッキンは一体になっています。

3 取り付け前に

カートリッジの交換には次の工具が必要です。事前にご準備ください。

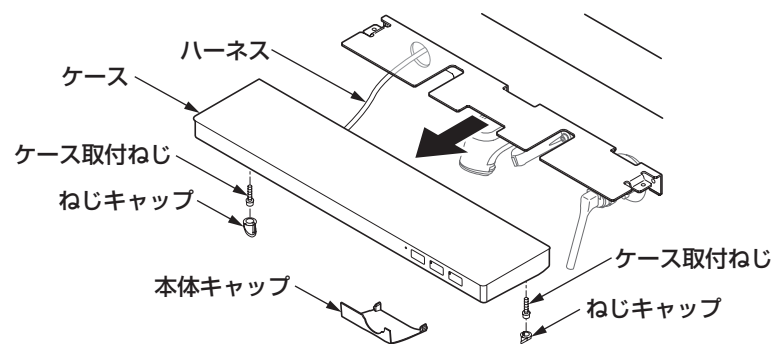
モーターレンチ ※TL362型は2本ご準備ください。	精密マイナスドライバー
マイナスドライバー	六角棒レンチ (対辺3mm) (対辺2.5mm)

4 取替方法 水栓の種類により、取替方法が異なりますので、ご注意ください。


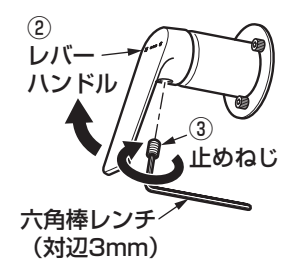






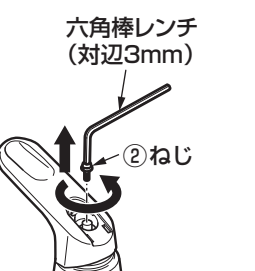




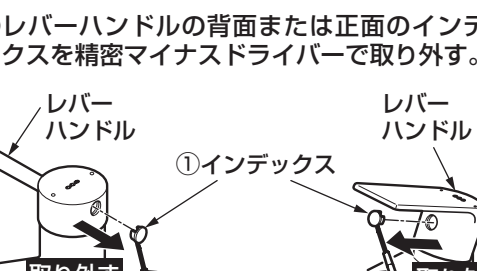
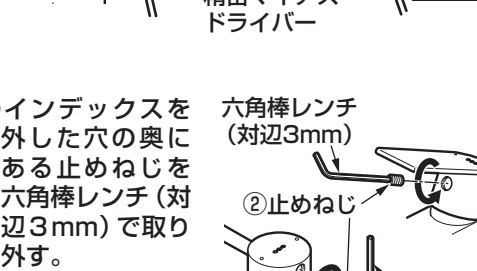

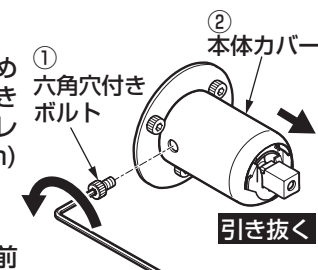




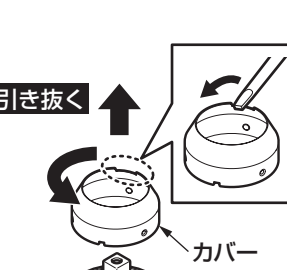

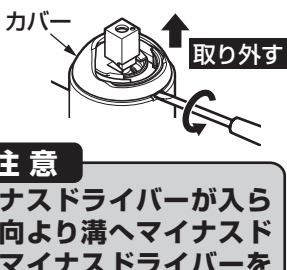
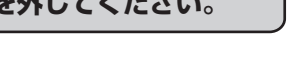
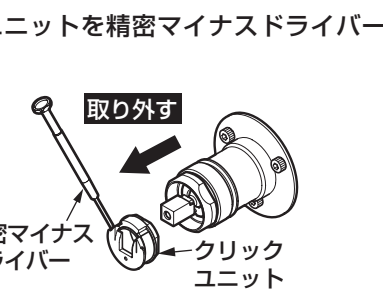
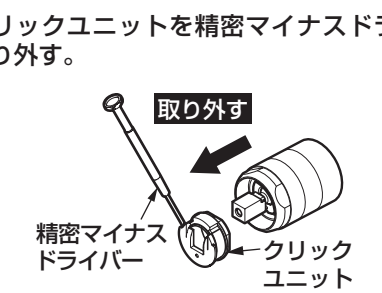
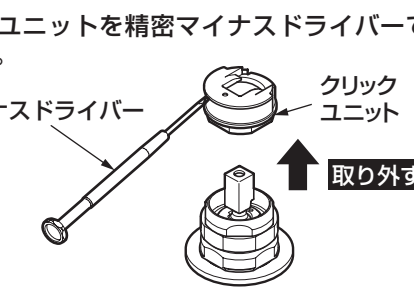
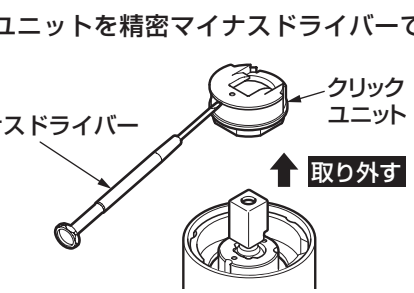
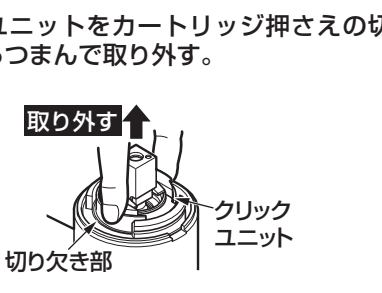
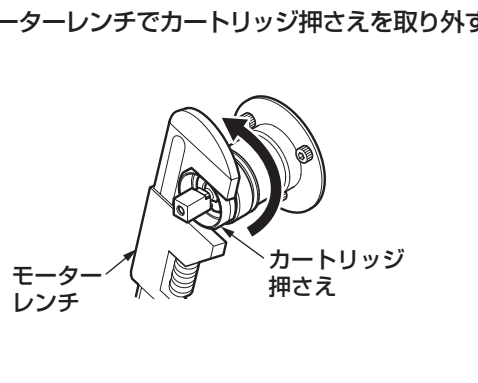
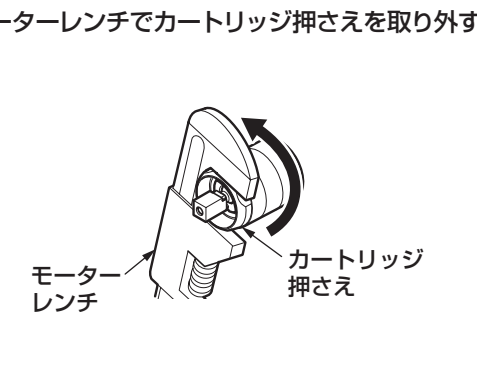
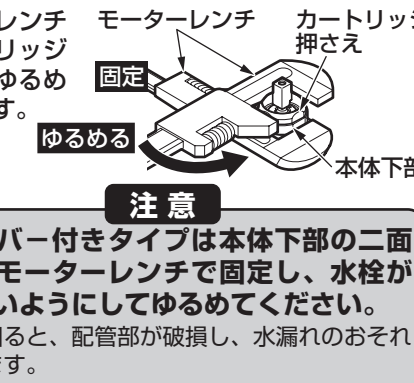
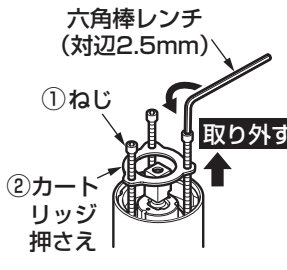


※TLG06型は、事前にねじキャップ、ケース取付ねじ、本体キャップを外し、ケースを外してください。交換後は逆の要領でケースを取り付けてください。

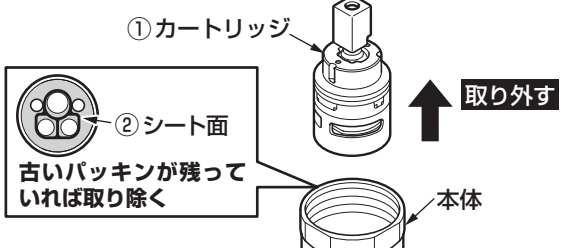
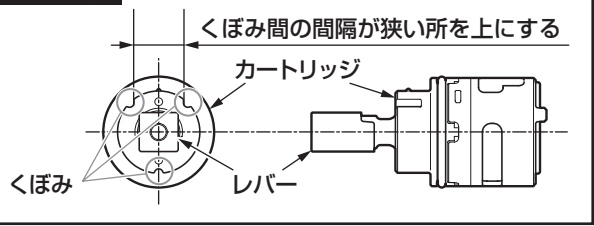
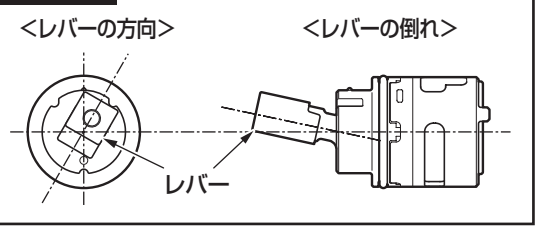
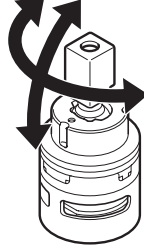
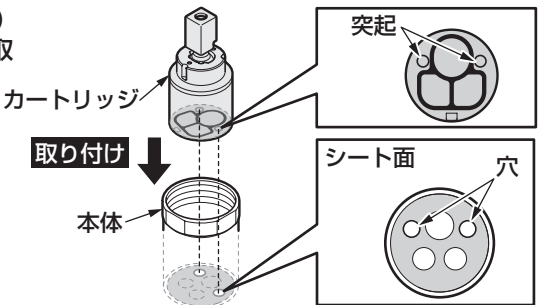


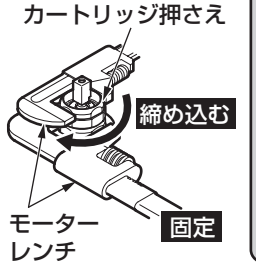


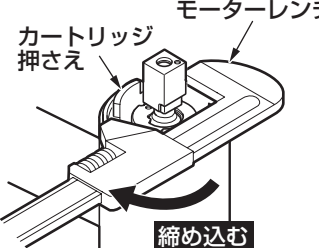

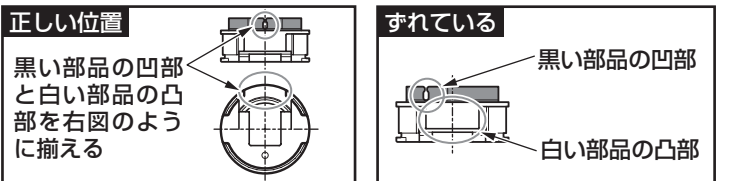
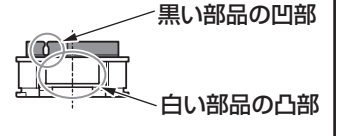
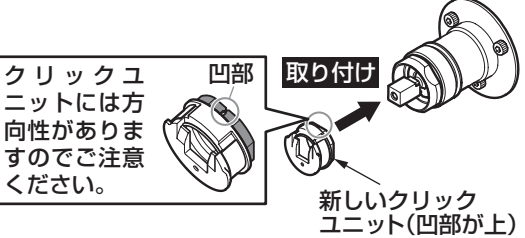
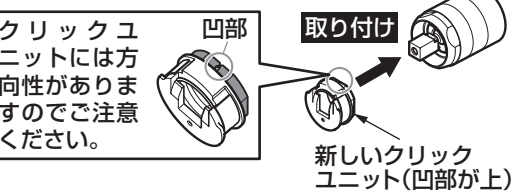

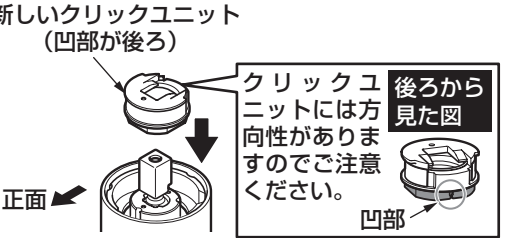
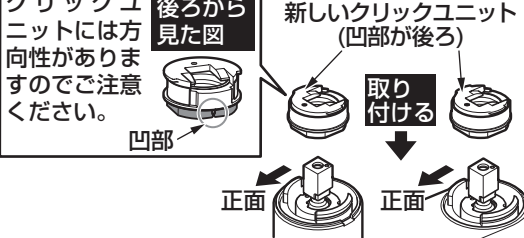
注意



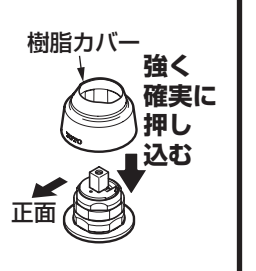

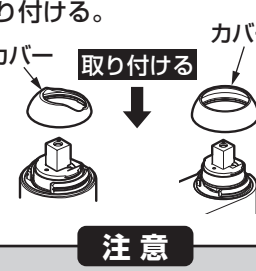


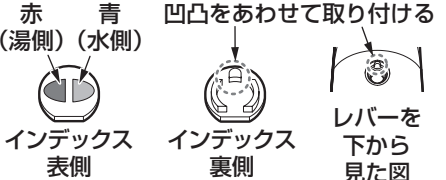
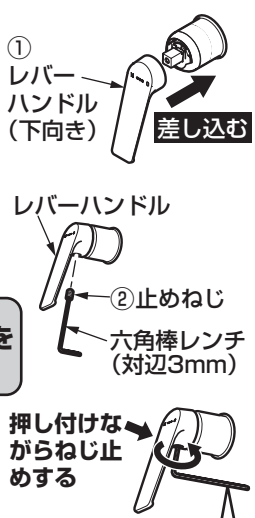
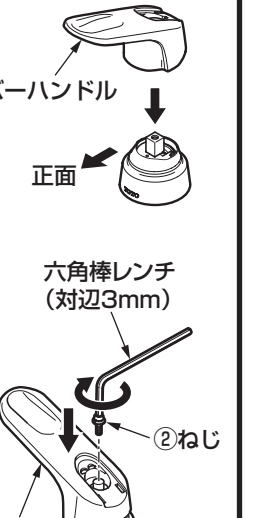
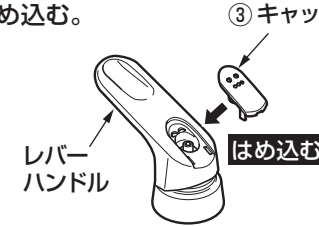



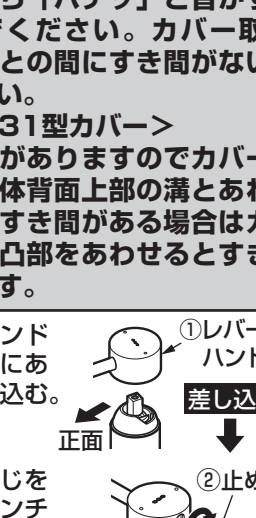
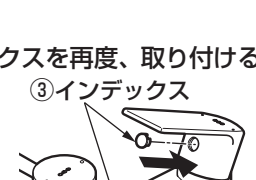

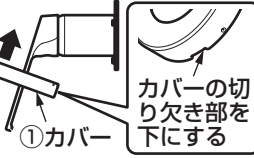
引き出す際にハーネスに無理な力がかからないように注意して引き出してください。



対象品番	TL361型・TLG06型	TL363型	TL362型	TL432型	TLCC31型・TLCF31型
1 止水栓、または元栓を閉める	湯側・水側の止水栓または元栓を確実に閉める。				
2 カバーの取り外し	TL361型のみ ①カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を当ててひねる。 ②カバーを取り外す。 				

対象品番	TL361型・TLG06型	TL363型	TL362型	TL432型	TLCC31型・TLCF31型
3 レバーハンドルの取り外し	<p>①レバーハンドル下面側のインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。(TL361型のみ)</p>  <p>②レバーハンドルを上げる。</p>  <p>③インデックスを外した穴の奥にある止めねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。</p>  <p>④レバーハンドルを手前方向に引き抜く。</p> 	<p>①レバーハンドルを上げる。</p>  <p>②止めねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。</p>  <p>③レバーハンドルを手前方向に引き抜く。</p> 	<p>①レバーハンドル上面のキャップを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>  <p>②ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。</p>  <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p> 	<p>①レバーハンドル正面のインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>  <p>②インデックスを外した穴の奥にある止めねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。</p>  <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p> 	<p>①レバーハンドルの背面または正面のインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>  <p>②インデックスを外した穴の奥にある止めねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。</p>  <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p> 
4 本体カバーおよびカバーの取り外し	<p>TL361型のみ</p> <p>①本体カバーを止めている六角穴付きボルトを六角棒レンチ(対辺2.5mm)で取り外す。</p>  <p>②本体カバーを手前方向へ引き抜く。</p> 	<p>①本体カバー下側のスナップフィットを押さえながら</p>  <p>②本体カバーを手前方向へ引き抜く。</p> 	<p>樹脂カバーを手で上向きに真っすぐに引き抜く。</p> 	<p>反時計回りに約20°回転させて、カバーを引き抜く。</p>  <p>カバーが固く回転しにくい場合は、カバーの切り欠きにマイナスドライバーなどを当てて回してください。</p> 	<p>本体背面上部の溝にマイナスドライバーを差し込みカバーを取り外す。</p>  <p>注意</p> <p>壁面が近く、マイナスドライバーが入らない場合は斜め方向より溝へマイナスドライバーを差し込みマイナスドライバーを引き上げてカバーを外してください。</p> 
5 クリックユニットの取り外し	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> 	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> 	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> 	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> 	<p>クリックユニットをカートリッジ押さえの切り欠き部からつまんで取り外す。</p> 
6 カートリッジ押さえの取り外し	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを取り外す。</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを取り外す。</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p>  <p>注意</p> <p>樹脂カバー付きタイプは本体下部の二面取りをモーターレンチで固定し、水栓が回らないようにしてゆるめてください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。</p>	<p>①ねじ(3本)を六角棒レンチ(対辺2.5mm)で取り外す。</p>  <p>②カートリッジ押さえを取り外す。</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを取り外す。</p>  <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。 ●モーターレンチご使用の際は、水栓本体が傷つかないようにしてください。

対象品番	TL361型・TLG06型	TL363型	TL362型	TL432型	TLCC31型・TLCF31型
7 カートリッジの取り外し	<p>①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。</p> 				
8 新しいカートリッジの位置あわせ	<p>新しいカートリッジのレバーの位置を右図の正しい位置にあわせる。</p>	<p>正しい位置</p> 	<p>ずれている</p> 	<p>倒れている場合はレバーを動かし、正しい位置にあわせる。</p> 	
9 新しいカートリッジ取り付け	<p>新しいカートリッジ (プッシュ・パッキン付き) の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。</p> 				
10 カートリッジ押さえの取り付け	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p> <p>注意 本体下部の二面取りをモーターレンチで固定し、水栓が回らないようにして締め込んでください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。</p> 	<p>①カートリッジ押さえとねじ部3カ所の位置をあわせる。</p>  <p>②六角棒レンチ(対辺2.5mm)で下図の順番でねじを締め付ける。</p> <p>最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p> <p>次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60°程度増し締めする</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p>  <p>注意 ●水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。 ●モーターレンチご使用の際は、水栓本体が傷つかないようにしてください。</p>
11 新しいクリックユニットの位置合わせ	<p>新しいクリックユニットの黒い部品と白い部品の位置を右図の正しい位置にあわせる。</p> <p>注意 必ず新しいクリックユニットを使用してください。</p> <p>後ろから見た図 黒い部品の凹部がずれている場合は黒い部品を動かし正しい位置にあわせる。</p>  <p>正しい位置 黒い部品の凹部と白い部品の凸部を右図のように揃える</p>  <p>ずれている 黒い部品の凹部 白い部品の凸部</p> 				
12 新しいクリックユニットの取り付け	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p> <p>クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。</p> 	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p> <p>クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。</p> 	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p> <p>新しいクリックユニット(凹部が後ろ)</p>  <p>クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。</p>	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p> <p>新しいクリックユニット(凹部が後ろ)</p>  <p>クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。</p>	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p> <p>クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。</p> <p>後ろから見た図 新しいクリックユニット(凹部が後ろ)</p> 

対象品番	TL361型・TLG06型	TL363型	TL362型	TL432型	TLCC31型・TLCF31型
13 本体カバーまたはカバーの取り付け	<p>TL361型のみ</p> <p>①本体カバーを取り付ける。</p> <p>②本体カバーを止めている六角穴付きボルトを六角棒レンチ(対辺2.5mm)で締め付ける。</p> 	<p>本体カバーの窓と本体のスナップフィットをあわせ本体カバーを取り付ける。</p> 	<p>樹脂カバーを取り付ける。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●樹脂カバーの向きに注意してください。 ●TOTOマークが正面にくるように取り付けてください。 	<p>カバーを本体に挿入し、約20°時計回りに回します。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カバーの突起を本体内部の溝とあわせてください。 ●カバーの切り欠きが後側となるようにしてください。 	<p>カバーを取り付ける。</p>  <p>注意</p> <p>上方向から「パチッ」と音がするまで押し込んでください。カバー取り付け後は、本体との間にすき間がないか、ご確認ください。</p> <p><TLCC31型カバー></p> <ul style="list-style-type: none"> ●方向性がありますのでカバー底面の凸部を本体背面上部の溝とあわせてください。すき間がある場合はカバーを回転させ凸部をあわせるとすき間がなくなります。
14 レバーハンドルの取り付け	<p>①レバーハンドルを下向きにして差し込む。</p> <p>②レバーハンドルを本体方向に押しつけながら、新しい止めねじを締め付ける。</p> <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止める</p>  <p>最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p> <p>次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60°程度増し締めする。</p> <p>③インデックスを再度、取り付ける。(TL361型のみ)</p>  <p>赤(湯側) 青(水側) 凹凸をあわせて取り付ける</p> 	<p>①レバーハンドルを下向きにして差し込む。</p> <p>②レバーハンドルを本体方向に押しつけながら、新しい止めねじを締め付ける。</p> <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止める</p>  <p>最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p> <p>次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60°程度増し締めする。</p>	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p> <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p> <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止める</p>  <p>③キャップをはめ込む。</p> 	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p> <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p> <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止める</p>  <p>③インデックスを取り付ける。</p>  <p>赤(湯側) 青(水側) 凹凸をあわせて取り付ける</p> 	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p> <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p> <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>押し付けながらねじ止める</p>  <p>③インデックスを再度、取り付ける。</p>  <p>凹凸をあわせて取り付ける</p> 
15 カバーの取り付け	<p>TL361型のみ</p> <p>①カバーをレバーハンドルに通す。</p> <p>②カバーを本体に固定する。</p> 				
16 動作確認	<p>①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。</p> <p>②湯側・水側の止水栓または元栓を開ける。</p> <p>③水漏れがないか確認する。</p> <p>④止水栓で流量調節をする。</p> <p>最適流量の目安</p> <p>※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量6~7L/分(5~6L/分)程度になるように止水栓で調節してください。()はTL363型の場合</p> <p>8Lバケツの場合 : 約1分10秒(約1分40秒)で満水</p> <p>※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量がでない場合があります。</p>				